

豊見城シーサー探訪記

シーサー由来記

ゆき



シーサー由来記
〜豊見城シーサー探訪記〜



ん？なんだい？

この大きな石の塊は何かって？

これはね『シーサー』と言って、

みんなに病気や災いが降りかからないように

ここでみんなを守っているんだよ。

昔こんなことがあってね・・・



昔、この村の近くに
魔物がとりついた
大きな石があったんだ。



この村では
魔物のせいで
村人が病気になったり、
火事がとっても多かったりして、
とっても困っていたんだ。



そのときたまたま、
村の近くを通った神様が、
村の様子を見て
とてもかわいそうに思ったんだ。



そして、その魔物から
村人を守るために、
魔物がとりついていた大きな石を
『シーサー』に変えて、
魔物から助けてあげたんだ。



① 饒波 (のは) のシーサー



饒波の竈屋跡地の近く、「饒波シーサー前バス停」目の前にあるのが「饒波のシーサー」です。
ここには石づくりのシーサーと焼物でできたシーサーの2体が、一緒に村を見守っています。
2体が同じ場所で見守っているのは市内でもここだけとなっています。

② 名嘉地 (なかち) のシーサー



名嘉地(北)の交差点を我那覇向けに入っていくと、左側に見えるのが「名嘉地のシーサー」です。
シーサーの形が比較的残っており、大きな鼻の穴がチャームポイントになっています。

それから、『シーサー』はみんなを守る守り神として、村をずっと守っているんだよ。
みんなの住んでいるムラ(地域)にも『シーサー』はいるかな？
みんなで探してみよう！



④真玉橋（まだんばし）の イリヌ（西の）シーサー／アガリヌ（東の）シーサー

●真玉橋のイリヌシーサー
真玉橋交差点のすぐ近く、那覇東バイパス沿いにあるのが「真玉橋のイリヌシーサー」です。
真玉橋地区の入り口で、外から悪いものが入ってこないように大きな口を開けて村人を守っています。
こちらのシーサーも、魔物から村人を守るお話が語り継がれていて、根差部のシーサーとともに絵本になっていますね。
見たことのある人も多いのではないのでしょうか。

●真玉橋のアガリヌシーサー
イリヌシーサー近くの住宅街の中心にいて、イリヌシーサーよりもかわいらしい姿をしているのが「真玉橋のアガリヌシーサー」です。
くりくりとした特徴的な目をしていて、村の人々を優しく見守っています。



③田頭（たがみ）のシーサー2頭

●田頭のシーサー①
久保田（国元）の森に向かって、その右手側に歩いていくと正面に現れるのが「田頭のシーサー」です。
田頭のシーサーは2体いて、こちらは住宅地の中で地域を見守っています

●田頭のシーサー②
久保田（国元）の森に向かって左手側、表の通り沿いにも「田頭のシーサー」があります。
こちらは目立つ場所に立っているので、見たことのある方も多いのではないのでしょうか。



⑦高嶺（たかみね）のシーサー



高嶺公民館に向かって左側、小高い丘の頂上で皆を見守っているのが「高嶺のシーサー」です。
丘にはフェンスがあり、子ども連れでも安全にシーサー巡りに行きやすい場所になっています。
個人的には一番凛々しいお顔をしています。

⑤根差部（ねさぶ）のシーサー



根差部地区コミュニティ共用施設のすぐ隣、根差部地区を見守るような姿勢で立っているのが「根差部のシーサー」です。
根差部のシーサーと真玉橋のシーサーは、魔物から村人を守ったという言い伝えが伝わっており、絵本にもなっていますね。みんな知っていますか？

⑧保栄茂（びん）のシーサー



保栄茂馬場公園のすぐ近く、保栄茂の住宅地に入る道の途中に、「保栄茂のシーサー」があります。
シーサーといえは、たてがみのあるライオンに近いイメージを持つ方も多いと思いますが、保栄茂のシーサーはちよつとユニークな形をしていますね。皆さんにはどんな生き物に見えているでしょうか？

⑥翁長（おなが）のシーサー



翁長のジョン万次郎記念碑のすぐ近く、道を挟んだ向かい側にあるのが「翁長のシーサー」です。
不思議な形をしたシーサーですね。シーサーと言っても、いろんな形があつて面白いですね。

⑪高安（たかやす）の シーシヌメー／シーシヌウカミ

高安のがんや竈屋から徒歩5分、住宅地の中にぽつんと残る小高い森の中にあるのが「高安のシーシヌメー・シーシヌウカミ」です。

その中に、焼物のシーサーが1体います。シーサーが向いている方向には、かつて葬式で使っていた竈を収めた竈屋があります。竈が使われないこと（人が長生きする）のために竈屋に向いていると云われています。

その入り口は急な階段となっていて、なかなか見つけられません。シーサーのいる場所も狭くて危ないため、見に行くときは必ず大人と一緒に行くようにしてくださいね。



⑨渡嘉敷（とかしき）のシーサー

渡嘉敷集落センターの敷地内、広い原っぱに出る階段のすぐそばに、「渡嘉敷のシーサー」があります。

寝そべって、リラックスした姿勢で、のんびりしているようにも見えますが、このシーサーも魔物から村人を守った昔話があり、とても勇敢なシーサーです。



⑩平良（たいら）のムラシーサー

豊見城総合公園の道向かいにある大きな森の中、さか道ほそ道を乗り越えたその先に、「平良のムラシーサー」があります。平良のシーサーは市内のシーサーの中でも一番探しにくく、行きにくい場所にありました。

子どもだけではあぶないので、見に行く場合は必ず大人と一緒に行ってくださいね。



お家のすぐそばに守り神シーサー
 があるかも?!
 ぜひチェックしてみてくださいネ♪



豊見城文化財マップ
 シーサー等の文化財の
 地図は、スマートフォン等からQRコードで
 アクセスできます。

②名嘉地のシーサー

③田頭のシーサー

⑧保栄茂のシーサー

⑥翁長のシーサー

④真玉橋の
イリヌシーサー

④真玉橋の
アガリヌシーサー

⑤根差部のシーサー

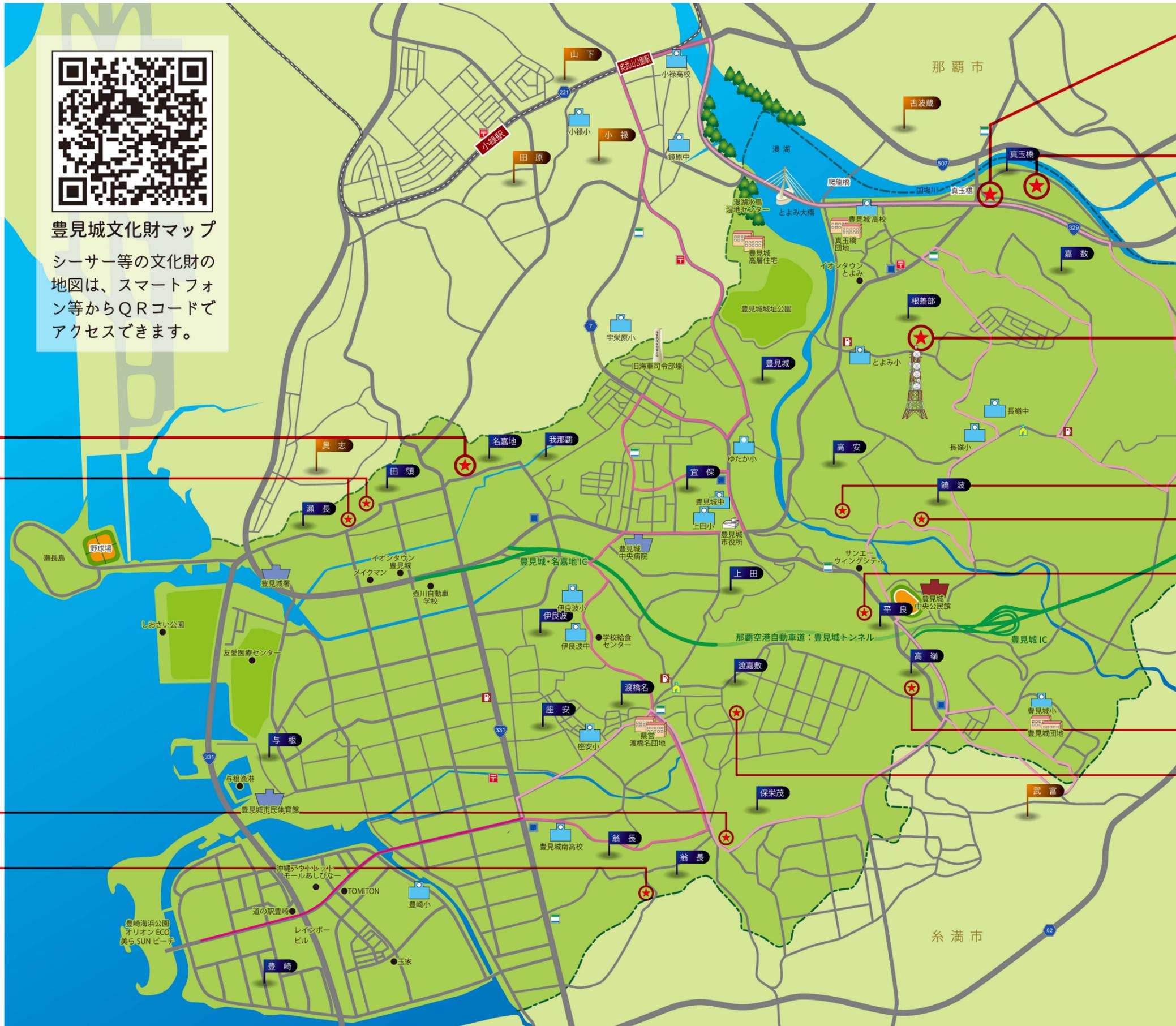
⑪高安のシーシヌメー
・シーシヌウカミ

①饒波のシーサー

⑩平良のムラシーサー

⑦高嶺のシーサー

⑨渡嘉敷のシーサー



この石像は一体何なんだろう？

初めてムラシーサーをみた私が最初に思ったのは、これは何だ？という疑問でした。

シーサーは家を守るものだと思っていた私は、地域を守るシーサーが、この豊見城にこんなにかくさんいることに驚き、そして、そのシーサーをはじめ、豊見城に伝わる歴史・文化を知る人がどんどん少なくなるなかで、その資料もあまり残っていないということを知りました。

そこで私はその時所属していた商工会青年部のメンバーとともに、豊見城市の文化、歴史を残していく事業をやりたいと考え、一昨年、豊見城市の市民団体交付金を活用し、「ガーナ森とシーサーのお話」という絵本を作成しました。

この絵本は真玉橋、根差部、嘉数のシーサー（嘉数のシーサーは現在なくなってしまう予定です）がでてくる物語で、市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校に配布することができました。

そして今回、豊見城市内全体のシーサーを題材とした絵本を作成することができました。

このシーサーの絵本は、私の知らなかった、そして、多くの人が見ても気づかない、知らないであろう「ムラシーサー」にスポットを当て、広く知ってもらいたいという思いから作成、配布させていただきました。

沖縄県内どこにもあるものではありません。ムラシーサーのない地域、なくなってしまう地域も数多くある中で、こんなにもたくさんの方のムラシーサーに守られたこの豊見城の文化、歴史を、この絵本を通じて少しでも多くの方に届けたい。

そして、この本を読んだ皆様に、豊見城をもっと好きになってもらえたら、嬉しいのです。

企画・地元の歴史・文化広め隊

（豊見城市商工会青年部有志の会）

代表 新田 宗市

兼島 正美

與那城 瑛太

知念 啓太

上地 政明

比嘉 宣仁

協力・豊見城市役所

豊見城市教育委員会文化課

制作・文を書いた人 新田 宗市

絵を描いた人 兼島 正美

発行日・二〇二二年三月三日

発行所・豊見城市商工会青年部

〒九〇一〇二四二

沖縄県豊見城市字高安三五八一

☎〇九八―八五〇―二〇六〇

FAX〇九八―八五〇―四六二

印刷所・いろは総合印刷

〒九〇一〇二二

沖縄県豊見城市字饒波一四〇一五

☎〇九八―八五〇―一五五四二

FAX〇九八―八五〇―〇七六八

本書の無断転写、転載、複製を禁じます

*このお話は、史実を軸に創作されたフィクションです